

**注 意 事 項**

- 1 試験開始時刻 9時30分  
2 試験科目数別終了時刻

科目数	1 科目	2 科目	3 科目
終了時刻	10時10分	10時50分	11時30分

- 3 試験科目別の問題番号ごとの解答数及び試験問題ページ

科 目	問題番号ごとの解答数					試 験 問 題 ペ ー ジ
	第 1 問	第 2 問	第 3 問	第 4 問	第 5 問	
電気通信技術の基礎	4	5	4	4	5	J - 1 ~ 6
端末設備の接続のための技術及び理論	5	5	5	5		J - 7 ~ 10
端末設備の接続に関する法規	5	5	5	5		J - 11 ~ 14

- 4 受験番号等の記入とマークの仕方

- (1) マークシート(解答用紙)にあなたの受験番号、生年月日及び氏名をそれぞれ該当枠に記入してください。  
 (2) 受験番号及び生年月日に該当する箇所を、それぞれマークしてください。  
 (3) 生年月日の欄は、年号をマークし、生年月日に1桁の数字がある場合、十の位の桁の「0」もマークしてください。

[記入例] 受験番号 01J9211234 生年月日 昭和50年3月1日

受 験 番 号

0	1	J	9	2	1	1	2	3	4
●	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○	○	○	○	○

生 年 月 日

年 号	5	0	3	0	1
平 成	○	○	○	○	○
昭 和	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

- 5 答案作成上の注意

- (1) 解答は、別に配付するマークシート(解答用紙)の該当欄の正解として選んだ番号マーク枠を、黒の鉛筆(HB又はB)で濃く塗りつぶしてください。  
 ボールペン、万年筆などでマークした場合は、採点されませんので、使用しないでください。  
 一つの問いに対する解答は一つだけです。二つ以上マークした場合、その問いについては採点されません。  
 マークを訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してください。
- (2) 免除の科目がある場合は、その科目欄は記入しないでください。  
 (3) この問題用紙に記入しても採点されません。  
 (4) 試験問題についての特記事項は、裏表紙に表記してあります。

- 6 合格点及び問題に対する配点

- (1) 各科目の満点は100点で、合格点は60点以上です。  
 (2) 各問題の配点は、設問文の末尾に記載してあります。

マークシート(解答用紙)は、絶対に折り曲げたり、汚したりしないでください。

次ページ以降は試験問題です。試験開始の合図があるまで、開かないでください。

受 験 番 号 (控 え)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(今後の問い合わせなどに必要になります。)

# 電気通信技術の基礎

第1問 次の各文章の      内に、それぞれの      の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

(1) 図1に示す回路において、同一の抵抗Rが (ア) オームであるとき、端子a - b間の合成抵抗は、1オームである。 (5点)

3                  4                  6

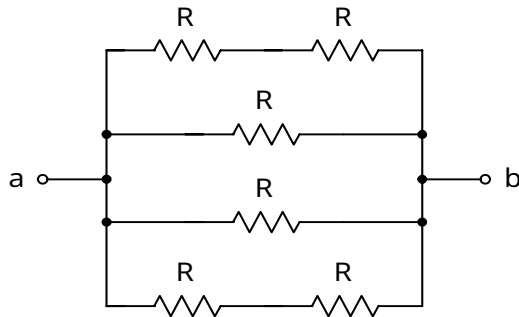


図 1

(2) 図2に示す回路において、2アンペアの交流電流が流れているとき、端子a - b間の電圧は、(イ) ボルトである。 (5点)

1 4                  2 6                  3 4

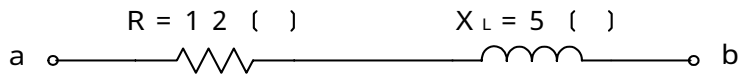


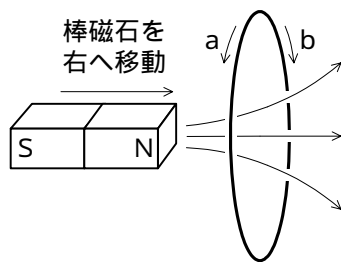
図 2

(3) コンデンサに交流電流を流したとき、コンデンサの容量性リアクタンスの大きさは、周波数に (ウ) 。 (5点)

無関係である                  比例する                  反比例する

(4) 図3に示すように、閉じた円形コイルの中心に向かって棒磁石のN極を一定の速さで左から近づけると、円形コイルには、(エ) 。 (5点)

aの向きに電流が流れる                  bの向きに電流が流れる  
aの向きの電流とbの向きの電流が交互に流れる



(注) : 棒磁石によって生ずる磁束

図 3

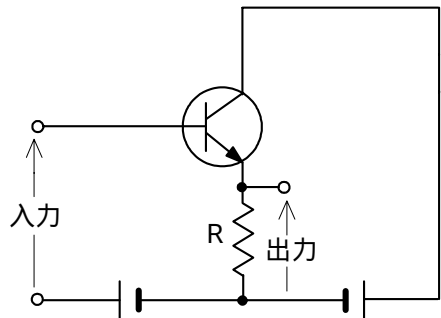
第2問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

- (1) p形半導体のキャリアについて述べた次の記述のうち、正しいものは、  (ア) である。 (4点)

正孔の数が自由電子の数より多い。  
自由電子の数が正孔の数より多い。  
正孔の数と自由電子の数は同数である。

- (2) 図に示すトランジスタ回路の接地方式は、  (イ) 接地である。 (4点)

ベース エミッタ コレクタ



- (3) ツェナーダイオードは、逆方向電圧がある一定値を超えると逆方向電流が急激に増大する降伏現象を利用した素子で、  (ウ) ダイオードともいわれる。 (4点)

定電流 定電圧 スイッチング

- (4) トランジスタなどの動作点の設定を行うために必要な  (エ) を供給するための回路は、バイアス回路といわれる。 (4点)

直流電流 交流電流 入力信号

- (5) トランジスタ回路において、エミッタ電流が2.02ミリアンペア、コレクタ電流が1.98ミリアンペアのとき、ベース電流は  (オ) マイクロアンペアである。 (4点)

4 40 400

第3問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

- (1) 表に示す2進数の  $X_1$ 、 $X_2$  を用いて、計算式(加算)  $X_0 = X_1 + X_2$  から  $X_0$  を求め、2進数で表示すると、 $X_0$  の先頭から(左から)3番目と4番目の数字は、 (ア) である。 (5点)

00      01      10      11

2進数	
$X_1 =$	1000111
$X_2 =$	1011010

- (2) 図1及び図2に示すベン図において、A、B及びCが、それぞれの円の内部を表すとき、図1及び図2の塗りつぶした部分を示す論理式の論理積は、 (イ) と表すことができる。 (5点)

$A \cdot B \cdot \bar{C}$        $A \cdot \bar{C} + B \cdot \bar{C}$        $A \cdot B \cdot \bar{C} + \bar{A} \cdot C$

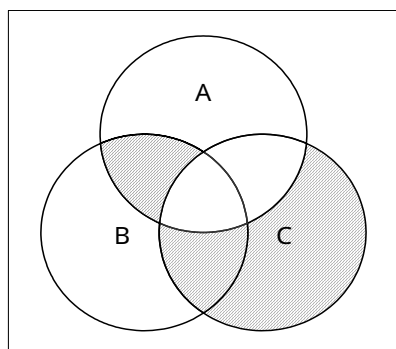


図1

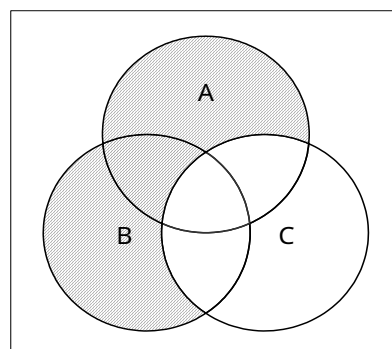


図2

- (3) 図3に示す論理回路において、Mの論理素子が **(ウ)** であるとき、入力 a 及び入力 b と出力 c との関係は、図4で示される。 (5点)

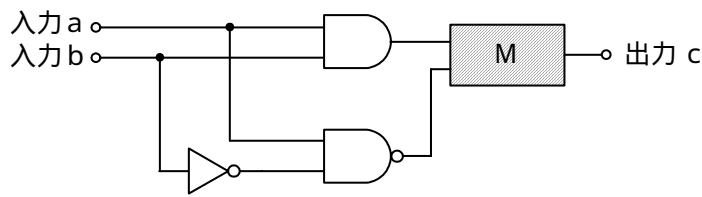
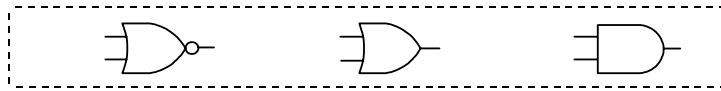


図3

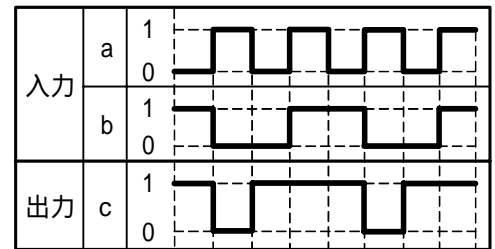
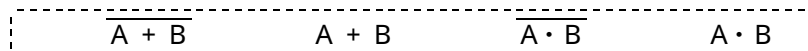


図4

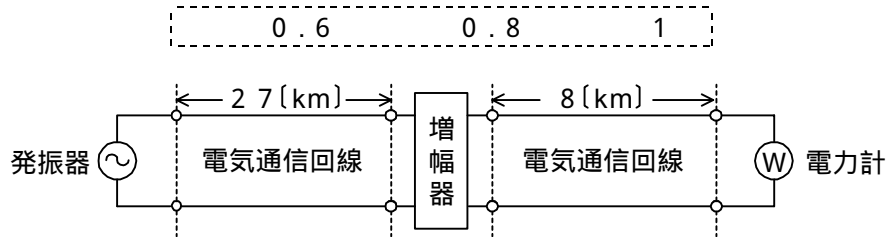
- (4) 次の論理関数 X は、ブール代数の公式等を利用して変形すると、 **(工)** になる。(5点)

$$X = A \cdot \overline{B} + B$$



第4問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

- (1) 図において、電気通信回線への入力電力が16ミリワット、増幅器の利得が18デシベルのとき、電力計の読みは1.6ミリワットとなった。このとき、電気通信回線の伝送損失は1キロメートル当たり  (ア) デシベルである。ただし、入出力各部のインピーダンスは整合しているものとする。 (5点)



- (2) 誘導回線の信号が被誘導回線に現れる漏話のうち、誘導回線の信号の伝送方向を正の方向とし、その反対方向を負の方向とすると、負の方向に現れるものは、  (イ) 漏話といわれる。 (5点)

近端 遠端 直接

- (3) 平衡対ケーブル及び同軸ケーブルについて述べた次の二つの記述は、  (ウ) 。 (5点)  
 A 平衡対ケーブルは、一般に、伝送する信号の周波数が高くなるほど伝送損失が減少する。  
 B 同軸ケーブルは、外部導体の働きにより、平衡対ケーブルと比較して、比較的高い周波数において漏話の影響を受けにくい。

Aのみ正しい Bのみ正しい AもBも正しい AもBも正しくない

- (4)  (エ) ミリワットの電力を絶対レベルで表すと、-20 [dBm] である。 (5点)

0.01 0.1 1

第5問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

- (1) アナログ変調方式の一つである位相変調では、搬送波の位相を入力信号の  (ア) に応じて変化させている。 (4点)

波 長          振 幅          周波数

- (2) 光ファイバ通信における光変調に用いられる外部変調方式では、光を透過する媒体の屈折率や吸収係数などを変化させ、光の属性である  (イ) 、周波数、位相などを変化させることにより、光信号への変換を行っている。 (4点)

利 得          反 射 率          強 度

- (3) 伝送系の位相量が、周波数に対して比例関係にないために生ずるひずみは、位相ひずみ又は  (ウ) ひずみともいわれ、伝送品質を劣化させる原因となる。 (4点)

減 衰          非直線          群遅延

- (4) デジタル伝送路における符号誤りの評価尺度の一つである  (エ) は、1秒ごとに平均符号誤り率を測定することにより、平均符号誤り率が  $1 \times 10^{-3}$  を超える符号誤りの発生した秒の延べ時間(秒)が、稼働時間(秒)に占める割合を示したものである。 (4点)

% S E S          % E S          B E R

- (5) デジタル伝送における信号の多重化には、一般に、複数の信号を時間的に少しずつずらして配列する  (オ) 方式が用いられる。 (4点)

F D M          S C M          T D M

**端末設備の接続のための技術及び理論**

第1問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) アウトパルスダイヤル式電話機において、送受器を上げた後、0ボタンを押下した場合は、選択信号として  (ア) 個のダイヤルパルスが電話機から送出される。(5点)

1                      2                      10

- (2) 側音について述べた次の記述のうち、正しいものは、 (イ) である。(5点)

側音が大きいと、送話者は自分の声が小さいと判断して大声で話すようになる。  
側音が大きいと、受話のとき相手の声が聞き取りにくい。  
側音を抑えるための回路は、ダイオードブリッジ回路又はコンパンダ回路といわれる。

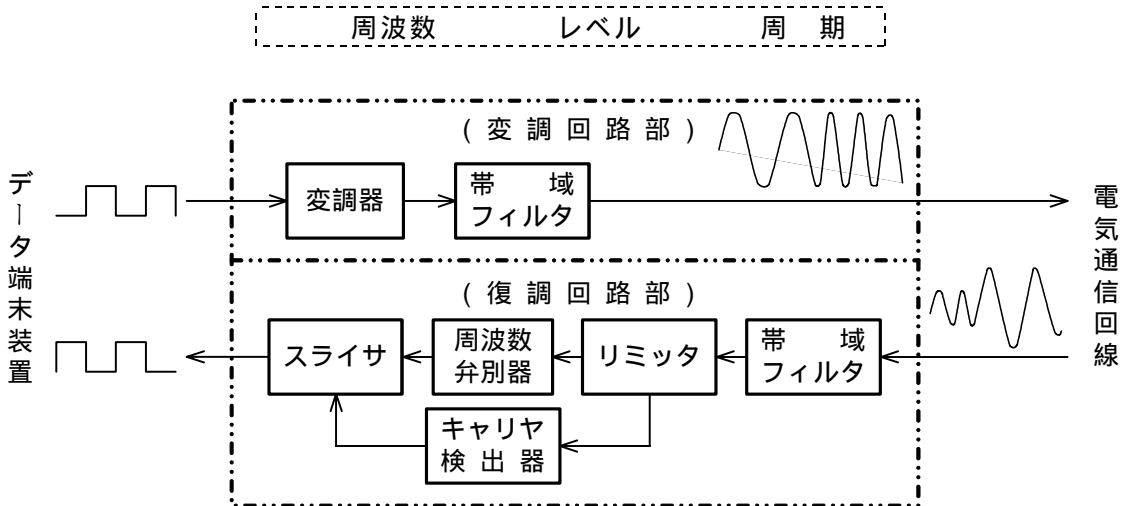
- (3) 1.9ギガヘルツ帯の周波数を用いる時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話は、 (ウ) といわれる方式に準拠しており、無線設備は、一般に、ARIB STD-T101を標準規格としている。(5点)

DECT                      PHS                      無線LAN

- (4) ファクシミリ装置において、 (エ) によって分解した画素の濃淡情報を電気信号に変換することは、光電変換といわれる。(5点)

位相同期                      復調                      送信走査

- (5) 図に示す非同期式変復調装置のブロック図において、リミッタは、受信したアナログ信号の一定  (オ) 以上の部分を取り除いている。(5点)





第2問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) ISDN基本ユーザ・網インタフェースの参照構成は、NT1、NT2、TA、TE1及びTE2の機能群並びにS、T及びRの参照点で構成される。参照点S及びTが一致する場合、この一致点をS/T点というが、これは機能群の  (ア) が存在しない状態である。(5点)

TE1       TE2       NT1       NT2

- (2) ISDN基本ユーザ・網インタフェースについて述べた次の二つの記述は、 (イ)。(5点)

- A 同一インタフェース上に複数の端末を収容することができ、個々の端末は独立に通信を行うことができる。  
B ネットワークコネクションの設定、維持、解放、各種付加サービス要求などの制御は、レイヤ2(データリンク層)の機能である。

Aのみ正しい       Bのみ正しい       AもBも正しい       AもBも正しくない

- (3) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおいて、バス配線上の伝送速度は、 (ウ) キロビット/秒である。(5点)

64       128       192

- (4) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおいて、 (エ) による非確認形情報転送手順は、ポイント・ツー・ポイントデータリンク及び放送形式データリンクのいずれにも適用できる。(5点)

LAPD       LAPB       SAPI

- (5) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおけるレイヤ3の  (オ) メッセージでは、回線交換かパケット交換かの指定を行っている。(5点)

呼設定受付       呼設定       呼出

第3問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) ISDN基本アクセスメトリック加入者線伝送方式におけるDSUでは、一般に、 (ア) のモジュラジャックがU点又はLI点といわれる参照点に相当する端子として用いられている。(5点)

RJ-11       RJ-45       RJ-48

- (2) ISDN基本ユーザ・網インタフェースに用いられるDSUは、停電時などでも基本電話サービスが維持できるための給電を受けており、一般に、 (イ) を実装したDSUの電源回路により受電することができる。(5点)

コーデック       電力分離フィルタ       端末インタフェース回路

- (3) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおける端末アダプタの独自機能のうち、外線通話中に空いている  を利用し、第三者を呼び出して三者間で通話できる機能は、疑似三者通話といわれる。(5点)

- (4) 故障などで廃棄するハードディスクやメモリから、残っているデータや消去されたデータを復活させて取り出す行為は、一般に、  といわれ、ソーシャルエンジニアリング手法として用いられることもある。(5点)

- (5) 情報セキュリティの脆弱性<sup>ぜい</sup>の一つに、一般に、ソフトウェアのバグや設計ミスに起因することが多いとされている  があり、この代表例として、バッファオーバーフローといわれるものがある。(5点)

第4問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) 保安器に用いられている過電流防護素子であるPTCサーミスタは、信号電流値を超える強電流が通信線から保安器に流れた場合、  によって抵抗が増加し、過電流を阻止する機能を有している。(5点)

- (2) 直流回路を開くことなく通電状態のまま直流電流を測定する場合、一般に、  が用いられる。(5点)

- (3) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおける配線工事において、パーソナルコンピュータ(PC)をインターネットに接続する場合、DSU内蔵型のTAを設置して、TAの  ポートとPCを接続すればよい。(5点)

- (4) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおけるバス配線の工事確認試験において、DSUから端末機器までのバス配線のT線(TA/TB)の極性を確認するには、テスタの  測定機能を用いる方法がある。(5点)

- (5) ISDN基本ユーザ・網インタフェースでのポイント・ツー・ポイント配線工事などについて述べた次の二つの記述は、 (オ)。(5点)
- A DSUとTEとの間のインピーダンス不整合による電氣的な反射を防ぐため、一般に、スプリッタを取り付ける。
- B DSUとTEとの間の配線において、商用電源が停電しても基本電話サービスを維持するため、一般に、T線及びR線を用いたファントムモードの給電が行われる。

Aのみ正しい       Bのみ正しい       AもBも正しい       AもBも正しくない

## 端末設備の接続に関する法規

第1問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から、「電気通信事業法」又は「電気通信事業法施行規則」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。  
(小計25点)

(1) 用語について述べた次の文章のうち、誤っているものは、 (ア) である。 (5点)

電気通信設備とは、電気通信を行うための機械、器具、線路その他の電氣的設備をいう。  
電気通信業務とは、電気通信事業者の行う電気通信設備の運用の業務をいう。  
端末設備とは、電気通信回線設備の一端に接続される電気通信設備であって、一部の設置の場所が他の部分の設置の場所と同一の構内(これに準ずる区域内を含む。)又は同一の建物内であるものをいう。

(2) 電気通信事業法は、電気通信事業の公共性にかんがみ、その運営を  (イ) なものとするとともに、その公正な競争を促進することにより、電気通信役務の円滑な提供を確保するとともにその利用者の利益を保護し、もって電気通信の健全な発達及び国民の利便の確保を図り、公共の福祉を増進することを目的とする。 (5点)

公平かつ安定的      安定かつ長期的      適正かつ合理的

(3) 自営電気通信設備とは、電気通信回線設備を設置する電気通信事業者以外の者が設置する電気通信設備であって、 (ウ) 設備以外のものをいう。 (5点)

伝 送      端 末      交 換

(4) 「利用の公平」及び「基礎的電気通信役務の提供」について述べた次の二つの文章は、 (エ) 。 (5点)

- A 電気通信事業者は、電気通信役務の提供について、不当な差別的取扱いをしてはならない。
- B 基礎的電気通信役務を提供する電気通信事業者は、その迅速、低廉かつ高品質な提供に努めなければならない。

Aのみ正しい      Bのみ正しい      AもBも正しい      AもBも正しくない

(5) 端末系伝送路設備とは、端末設備又は  (オ) と接続される伝送路設備をいう。 (5点)

自営電気通信設備      端末回線      事業用電気通信設備

第2問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から、「工事担任者規則」、「端末機器の技術基準適合認定等に関する規則」、「有線電気通信法」、「有線電気通信設備令」又は「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) AI第三種工事担任者は、アナログ伝送路設備に端末設備を接続するための工事のうち、端末設備に収容される電気通信回線の数1のものに限る工事を行い、又は監督することができる。また、総合デジタル通信用設備に端末設備を接続するための工事のうち、総合デジタル通信回線の数が  (ア) で1のものに限る工事を行い、又は監督することができる。(5点)

インターネット接続のための回線 基本インタフェース  
 毎秒64キロビット換算

- (2) 技術基準適合認定を受けた端末機器の技術基準適合認定番号について述べた次の文章のうち、正しいものは、 (イ) である。(5点)

デジタルデータ伝送用設備に接続される端末機器に表示される技術基準適合認定番号の最初の文字は、Aである。  
 アナログ電話用設備に接続される端末機器に表示される技術基準適合認定番号の最初の文字は、Bである。  
 総合デジタル通信用設備に接続される端末機器に表示される技術基準適合認定番号の最初の文字は、Cである。

- (3) 政令で定める有線電気通信設備の技術基準は、有線電気通信設備(政令で定めるものを除く。)が、人体に危害を及ぼし、又は  (ウ) ようにすることが確保されるものとして定められなければならない。(5点)

物件に損傷を与えない 利用者の利益を阻害しない  
 通信の秘密を侵さない

- (4) 有線電気通信設備令に規定する用語について述べた次の文章のうち、誤っているものは、 (エ) である。(5点)

ケーブルとは、光ファイバ並びに光ファイバ以外の絶縁物及び保護物で被覆されている電線をいう。  
 絶縁電線とは、絶縁物のみで被覆されている電線をいう。  
 線路とは、送信の場所と受信の場所との間に設置されている電線及びこれに係る中継器その他の機器をいい、これらを支持し、又は保蔵するための工作物は除く。

- (5) 不正アクセス行為の禁止等に関する法律においてアクセス管理者とは、電気通信回線に接続している電子計算機(以下「特定電子計算機」という。)の  (オ) (当該電気通信回線を通じて行うものに限る。)につき当該特定電子計算機の動作を管理する者をいう。(5点)

検 証                      利 用                      維 持

第3問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から、「端末設備等規則」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) 用語について述べた次の文章のうち、誤っているものは、 (ア) である。(5点)

アナログ電話用設備とは、電話用設備であって、端末設備又は自営電気通信設備を接続する点においてアナログ信号を入出力とするものをいう。  
移動電話用設備とは、電話用設備であって、端末設備又は自営電気通信設備との接続において電波を使用するものをいう。  
デジタルデータ伝送用設備とは、電気通信事業の用に供する電気通信回線設備であって、デジタル方式により、符号、音声その他の音響又は映像を統合して伝送交換することを目的とする電気通信役務の用に供するものをいう。

(2) 直流回路とは、端末設備又は自営電気通信設備を接続する点において2線式の接続形式を有するアナログ電話用設備に接続して電気通信事業者の  (イ) の制御を行うための回路をいう。(5点)

交換設備の動作の開始及び終了  
伝送設備の起動及び停止  
線路設備の接続及び開放

(3) 安全性等について述べた次の二つの文章は、 (ウ) である。(5点)

- A 端末設備の機器の、その電源回路と筐体及びその電源回路と事業用電気通信設備との間の絶縁抵抗は、使用電圧が300ボルト以下の場合にあっては、0.2メガオーム以上であり、300ボルトを超え750ボルト以下の直流及び300ボルトを超え600ボルト以下の交流の場合にあっては、0.4メガオーム以上であること。  
B 利用者が端末設備を事業用電気通信設備に接続する際に使用する線路及び保安器その他の機器である配線設備等の電線相互間及び電線と大地間の絶縁抵抗は、直流200ボルト以上の一の電圧で測定した値で1メガオーム以上であること。

Aのみ正しい  Bのみ正しい  AもBも正しい  AもBも正しくない

(4) 安全性等について述べた次の文章のうち、誤っているものは、 (エ) である。(5点)

端末設備は、事業用電気通信設備から漏えいする通信の内容を意図的に識別する機能を有してはならない。  
通話機能を有する端末設備は、通話中に受話器から過大な熱雑音が発生することを防止する機能を備えなければならない。  
端末設備は、事業用電気通信設備との間で鳴音(電氣的又は音響的結合により生ずる発振状態をいう。)を発生することを防止するために総務大臣が別に告示する条件を満たすものでなければならない。

(5) 配線設備等は、事業用電気通信設備を損傷し、又はその機能に障害を与えないようにするため、総務大臣が別に告示するところにより配線設備等の  (オ) の方法を定める場合にあっては、その方法によるものでなければならない。(5点)

設置  試験  接地

第4問 次の各文章の  内に、それぞれの  の解答群の中から、「端末設備等規則」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) アナログ電話端末の「基本的機能」又は「発信の機能」について述べた次の文章のうち、正しいものは、 (ア) である。(5点)

アナログ電話端末の直流回路は、発信又は応答を行うとき開き、通信が終了したとき閉じるものでなければならない。  
自動的に選択信号を送出する場合にあっては、直流回路を閉じてから3秒以上経過後に選択信号の送を開始するものであること。ただし、電気通信回線からの発信音又はこれに相当する可聴音を確認した後に選択信号を送出する場合にあっては、この限りでない。  
発信に際して相手の端末設備からの応答を自動的に確認する場合にあっては、電気通信回線からの応答が確認できない場合選択信号送終了後3分以内に直流回路を開くものであること。

(2) アナログ電話端末の「選択信号の条件」における押しボタンダイヤル信号について述べた次の二つの文章は、 (イ) である。(5点)

- A 低群周波数は、600ヘルツから1,000ヘルツまでの範囲内の特定の四つの周波数で規定されている。
- B 高群周波数は、1,200ヘルツから1,600ヘルツまでの範囲内の特定の四つの周波数で規定されている。

Aのみ正しい       Bのみ正しい       AもBも正しい       AもBも正しくない

(3) アナログ電話端末の4キロヘルツまでの送出電力の許容範囲は、通話の用に供する場合を除き、平均レベルで  (ウ) dBm以下で、かつ、最大レベルで0dBmを超えないこと。(5点)

- 8       - 6       - 4

(4) 移動電話端末の「基本的機能」について述べた次の文章のうち、誤っているものは、 (エ) である。(5点)

発信を行う場合にあっては、発信を要求する信号を送出するものであること。  
応答を行う場合にあっては、応答を確認する信号を送出するものであること。  
通信を終了する場合にあっては、直流回路を開放する信号を送出するものであること。

(5) 複数の電気通信回線と接続される専用通信回線設備等端末の回線相互間の  (オ) は、1,500ヘルツにおいて70デシベル以上でなければならない。(5点)

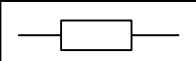



反射損失       平衡度       漏話減衰量

## 試験問題についての特記事項

(1) 試験問題に記載されている製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。  
なお、試験問題では、® 及び TM を明記していません。

(2) 問題文及び図中などで使用しているデータは、すべて架空のものです。

(3) 試験問題、図中の抵抗器及びトランジスタの表記は、旧図記号を用いています。

新図記号	旧図記号	新図記号	旧図記号
			

(4) 論理回路の記号は、MIL記号を用いています。

(5) 試験問題では、常用漢字を使用することを基本としていますが、次の例に示す専門的用語などについては、常用漢字以外も用いています。

[例] ・迂回(うかい) ・筐体(きょうたい) ・輻輳(ふくそう) ・燃り(より) ・漏洩(ろうえい) など

(6) バイト(Byte)は、デジタル通信において情報の大きさを表すために使われる単位であり、一般に、2進数の8桁、8ビット(bit)です。

(7) 情報通信の分野では、8ビットを表すためにバイトではなくオクテットが使われますが、試験問題では、一般に、使われる頻度が高いバイトも用いています。

(8) 試験問題のうち、正誤を問う設問において、句読点の有無など日本語表記上若しくは日本語文法上の誤りだけで誤り文とするような出題はしてありません。

(9) 法令に表記されている「メガオーム」は、「メガオーム」と同じ単位です。

(10) 法規科目の試験問題において、個別の設問文中の「」表記は、出題対象条文の条文見出しなどを表しています。また、出題文の構成上、必ずしも該当条文どおりには表記しないで該当条文中の( )表記箇所の省略や部分省略などしている場合がありますが、( )表記の省略の有無などで正誤を問うような出題はしてありません。